

27 愛防第 20 号  
平成 27 年 4 月 24 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察注意報（第 2 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

平成 27 年度 病害虫発生予察注意報（第 2 号）

平成 27 年 4 月 24 日  
愛 媛 県

病害虫名 果樹カメムシ類

（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ）

対象作物 うめ、もも、びわ、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 多

3 注意報発表の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの本年の越冬密度は、県下 40 カ所調査の平均値が 1.33 頭／落葉 2 m<sup>2</sup>で、平年 (0.79 頭／落葉 2 m<sup>2</sup>) よりも多い (図 1)。
- (2) 越冬量に地域差があり、東・中予より南予で多い(図 2)。
- (3) 南予地域の予察灯では 4 月第 4 半旬に平年を上回る誘殺が確認され (表 1)、集合フェロモントラップ調査では松山市及び南予地域で平年を上回る誘殺が確認された地点がある(表 2)。
- (4) 平成 27 年 4 月 23 日発表の四国地方 1 か月予報では、気温は平年より高いとされ、今後、気温の上昇にともない越冬成虫 (7 月頃まで生存) の果樹園への飛来が増加してくるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (2) かんきつでは開花期頃から園内への飛来が予想され、大量飛来は落花(果)の被害が発生する恐れがあるので飛来に注意し防除を行う。かきにおいても同様に園地への飛来と被害には十分注意する。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (5) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従いただちに薬剤防除を行う。
- (6) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要である。
- (7) 薬剤により周辺作物や周辺の生物 (魚・蚕・ミツバチなど)、カイガラムシ類やハダニ類の異常増殖 (リサージェンス現象) に影響を及ぼすので選択には注意する。

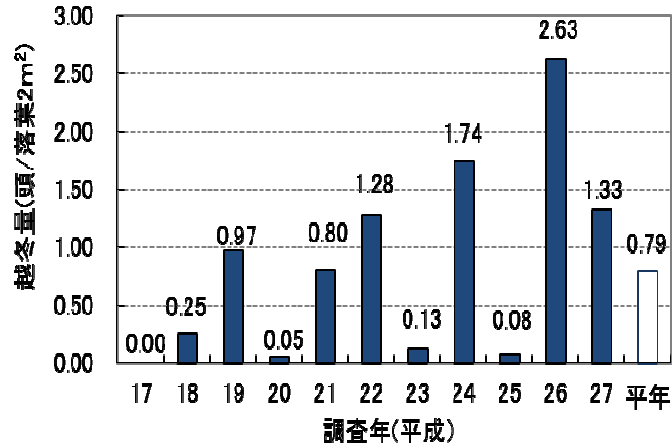


図1 チャバネアオカメムシの年次別越冬量 (全域(2月))

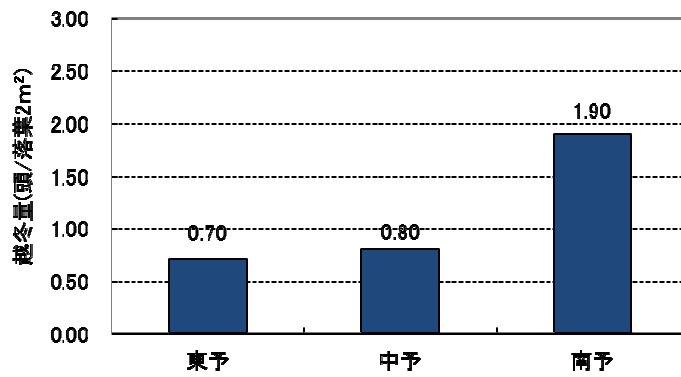


図2 チャバネアオカメムシの地域別越冬量 (平成 27 年)

表1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況 (東予・中予)

月	半旬	西条市西泉		松山市上難波		松山市下伊台		松前町大間		久万高原町入野	
		H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4	1	0	0	0	0	0	0.1	0	0	1	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.3	2	0.2	0	0	0	0

(南 予)

月	半旬	西予市宇和町		宇和島市吉田		鬼北町興野々		愛南町長月	
		H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4	1	0	0	3	0	13	0.2	5	0.1
	2	0	0.1	0	0.2	0	0.2	0	0.6
	3	0	0	0	0.3	0	0.7	1	1.4
	4	0	0	7	0.1	10	0.3	11	0.7

表2 果樹カメムシ類の集合フェロモントラップによる誘殺数

月	半旬	西条市丹原町		松山市上難波		松山市下伊台		宇和島市吉田町		鬼北調興野々	
		H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年	H27	平年
4	1	0	0	2	0.2	0	0.2	4	0.4	13	0.1
	2	0	0	0	0.3	0	0.1	2	0.7	6	0.7
	3	0	0.2	1	0.7	0	0.3	0	1.6	2	2.0
	4	0	2.6	5	1.8	0	2.0	4	1.8	5	6.8